

# 全国大会発表募集要項

2024年10月5日改訂

大会ごとの最新の募集要項詳細は、学会ホームページ上に応募フォーム、チェックリストとともにアップロードいたします（開催校の状況に即した注意事項が追加されます）。

応募をされる際には、以下の要項を熟読・厳守されるのに加えて、必ずホームページ上の最新情報をご確認の上、大会実行委員会からの通知も厳守して書類をご提出ください。

各種締め切り期日も開催校の状況によって若干変更の可能性がありますので、学会ホームページをご確認ください。

## 1. 共通論題について

- (1) 共通論題は企画された特定のテーマに関して 2~4 名程度のパネリストもしくは報告者による報告と対話で構成するものです。時間は原則 120 分です。原則として 120 分の使い方は自由ですが、最後に討論の時間を十分取るよう配慮してください。
- (2) 発表言語及び応募書類は原則として日本語とします。なお、報告の一部が英語でなされるケースも認めます。英語による報告の場合は、その旨を記載してください。英語の場合、通訳等の準備は必要ありません。
- (3) 前回までの全国大会と同一あるいは同様テーマで発表する場合は、既発表の内容との違いを明確にした上でご応募ください。同一あるいは同様のテーマが連続する場合や他学会で既発表の報告については、常任理事会で協議します。
- (4) 同一の人物が複数の共通論題に登壇することはできません。
- (5) 応募は、A4で横書き1ページの企画書（本文の文字ポイント 10.5、40 字×30 行の書式で作成。共通論題テーマ、司会者名と所属・職階あるいは肩書、報告者名と所属・職階あるいは肩書・報告タイトル、時間配分を記載。企画案の最後に申込み代表者の氏名・現職・連絡先電話・メールを記載）を、前年度 11月末を目安とした大会実行委員会が学会ホームページで指定する期日（必着）までに Microsoft Word 版と PDF 版双方で大会実行委員会事務局宛てにメールに添付し提出するものとします。
- (6) 企画書の受領の連絡が申込みより 2 週間程度たってもない場合は、大会実行委員会事務局宛てにお問い合わせください。また、企画書の内容について、大会実行委員会事務局から連絡をすることがあります。
- (7) 申込み代表者（および司会者）は、応募時の年度会費を納入している学会会員に限りますが、報告者のなかに学会会員以外（ただし、大会参加費納入のこと）を含めることができます。申込み代表者（および司会者）が学会会員でない場合は、申込み時までに学会事務局宛てに会員登録および年度会費の納入を行うことにより応募資格を得ることとします。
- (8) 全国大会は 2 日間にわたって開催されます。発表日時は原則として選ぶことはできません。共通論題発表の採択を受けた場合、発表を取りやめることはできませんので、承知の上で応募してください。
- (9) 共通論題発表の採択通知は、翌年 1月末までに行います。採択通知を受けた場合、2月末日を目安とした大会実行委員会が学会ホームページで指定する期日までに企画書の最終案（発表概要）を Microsoft Word 版と PDF 版双方で大会実行委員会事務局に提出してください。発表概要是大会要旨集に掲載します。A4で横書き1ページ（本文の文字ポイント 10.5、40 字×30 行の書式で作成。共通論題テーマ、司会者名と所属、報告者名・所属・報告タイトル、時間配分を記載）。なお、申込み時に記載した連絡用の情報（企画案の最後に申込み代表者の氏名・現職・連絡先電話・メールを記載）については削除してください。また、何らかの事情で報告者の一部を変更せざるをえない場合は、大会実行委員会事務局に事前相談をしてください。発表概要是いただいたままの状態で掲載しますので、間違い等のないようご注意ください。
- (10) 期日までに上記（9）の提出がない場合、大会要旨集には申込み時の企画書を掲載しますので、ご了承ください。

(11) 発表の配付資料については、大会実行委員会事務局からの案内に従って、各自でコピーをご持参ください。発表時の機器や持ち込み品、発表形態についても、大会実行委員会事務局からの案内に従ってください。大会会場の都合によっては、ご希望に添えない場合もあることを、あらかじめご了承ください。

## 2. 自由論題について

- (1) 発表できる演題数は一人 1 演題に限ります。ただし、共通論題と自由論題で 2 演題になることは構いません。
- (2) 自由論題は原則として個人研究発表ですが、内容により複数の発表者による発表も可とします。いずれも発表時間は質疑応答も含めて 30 分とします。質疑応答の時間が十分とれるよう、発表時間を 20 分以内とします。
- (3) 発表言語及び応募書類は原則として日本語あるいは英語とします。なお、それ以外の言語で発表する場合は、発表時間内で日本語通訳を用意してください。
- (4) 他学会で既発表の報告については発表することはできません。
- (5) 応募は、A4 で横書き 1 ページの発表要旨（本文の文字ポイント 10.5、40 字×30 行の書式で作成。発表タイトル、氏名・現職（大学教職員・有識者・企業や団体・研究所等の場合）は所属と職階あるいは肩書、大学院生・学生の場合は在籍課程などを明記）、キーワード（3～5 語）、要旨本文（40 字×25 行以内）、連絡のため、最後に連絡先電話とメールアドレスを記載）を、大会開催前年度の 2 月末日を目安とした大会実行委員会が学会ホームページで指定する期日（必着）までに Microsoft Word 版と PDF 版双方で大会実行委員会事務局宛てにメールに添付し提出するものとします。
- (6) 応募書類の受領の連絡が申込みより 2 週間程度たってもない場合は、大会実行委員会事務局宛てにお問い合わせください。また、発表の内容について、大会実行委員会事務局から連絡をすることがあります。
- (7) 応募は日本国際文化学会の会員で、応募時の年度会費を納入している者に限ります。複数の発表者による応募の場合も、発表者全員が応募時の年度会費を納入している必要があります。ただし、応募時に学会会員でない場合は、申込みと同時に学会事務局宛てに会員登録および年度会費の納入を行うことにより応募資格を得るものとします。
- (8) 全国大会は 2 日間にわたって開催されます。発表日時は原則として選ぶことはできません。自由論題発表の採択を受けた場合、発表を取りやめることはできませんので、承知の上で応募してください。
- (9) 自由論題発表の採択通知は 4 月 20 日までに行います。採択通知後、発表要旨に修正がある場合は、指定された期日までに再提出してください。再提出の場合、応募時に記載した連絡用の情報（連絡先電話とメールアドレス）は削除してください。指定された期日までに提出がなされない場合、また修正等がない旨の連絡を受けた場合は、上記の連絡先情報を削除した上で、申込み時の書類のままで大会要旨集に掲載します。いずれの場合も、大会要旨集に掲載されることを踏まえて、間違い等のないようご注意ください。
- (10) 発表の配付資料については、大会実行委員会事務局からの案内に従って、各自でコピーをご持参ください。発表時の機器や持ち込み品、発表形態についても、大会実行委員会事務局からの案内に従ってください。大会会場の都合によっては、ご希望に添えない場合もあることを、あらかじめご了承ください。

## 3. 研究倫理について

共通論題及び自由論題で発表する研究については、各大学の研究倫理規定等をふまえて応募してください。